



令和5年度

渋沢つうしん

秦野市立渋沢小学校
令和5年10月24日
第6号
Tel 88-7066

《5年生 野外宿泊学習》

5年生は10月12日（木）～13日（金）に秋らしいさわやかな天候のもと、秦野市の表丹沢野外活動センターで野外宿泊学習を実施しました。学年目標でもある5年生のアイ言葉「あいさつ礼儀、アイデア&アクション、思い合い」を意識して行動することがめあてでした。施設の方々への気持ちの良いあいさつ、実行委員を中心に進められる集いやキャンドルファイヤーでの主体的な行動はこのめあてに沿ったものでした。中でも相手を思いやる「思い合い」が様々な場面で見られました。カレー作りでは自分の役割だけでなく手が足りないところを自主的に手伝っている姿、少し調子の悪い子がいると荷物を持ってあげる姿など、子どもたちの心の成長が感じられました。いつもより少し大変でも、少し不便でも、少し苦労してもみんなと一緒に乗り越えられる、そのようなことを体験できたのではないかと思います。また、キャンドルファイヤーで幻想的に揺らめくキャンドルを中心にして、5年生全員での大合唱は心に残る思い出になったことでしょう。このような経験が子どもたちの心をゆたかに耕していきます。



《1、2年生 生活科での交流》

9月29日(金)1年生と2年生の交流会がありました。2年生は生活科で、風の力やゴムの力、坂道を転がる力などを利用して動くおもちゃ作りをします。そして自分で楽しむだけでなく、1年生を招待することになりました。1年生に楽しんでもらうためにゲームにしていっつかのブースを作り、クラス全体をテーマパークのようにしました。2年生のこれまでの準備の様子を見ていると、1年生が楽しめるようにどのようなゲームにするのか、どのようにゲームの説明をすればわかりやすいのか、1年生が喜ぶプレゼントはどのようなものかなど、様々なことを話し合いながら準備をしていました。ただ楽しいゲームを作ろうではなく、1年生が楽しめるゲームを作ろうというように、相手意識をはっきりと持つことによって子どもたちの活動意欲は増していきます。2年生は当日の運営でも、事前に用意していた説明をその場でわかりやすく変更したり、ゲームを待っている1年生が気持ちよく待てるように椅子を増やしたりと、1年生を思いやり、よく気が付き、意欲的に行動していました。交流会が終わった後、2年生が教室に戻る1年生に「さようなら～、またね～」としばらく手を振っている姿がほほえましかったです。そんなお姉さん、お兄さんの2年生の姿を見て、今の1年生は来年の新1年生を優しく迎えてくれるのでしょうか。



《にこにこふれあい集会》

渋沢小学校では、「異学年の児童とふれあい、学年を超えた友だちをつくれるようにする」というめあてのもと、にこにこふれあい集会という学年交流行事を行っています。今年度は久しぶりの実施です。6年生と1年生は10月3日(火)、4年生と2年生は10月17日(火)に行い、5年生と3年生は10月25日(水)に予定しています。集会の進め方は、各クラス2名ずつ実行委員を決めて、学校全体での実行委員会で話し合い、クラス実行委員はそこで決まったことなどをクラスで説明したり、当日の司会運営を行います。集会当日は6年生と1年生のグループでも1年生がルール説明や終わりの言葉などを担当して、はっきりと自信をもってみんなの前で話すことができていました。先生や上級生に頼るだけでなく、自分たちで進めていくという経験が大切です。また、クラスや学年を超えて異学年とふれあうことがこの集会のめあてで、このような活動が学校という集団で学ぶ場の魅力だと考えています。



今年度4月の学校だよりでもふれましたが、「ともに生活し、ともに遊び、ともに学ぶ」、その良さを子どもたちが感じられるような取り組みを大切にしていきたいです。